

東日本大震災を契機とする 〈地域子ども学〉の構築

～子どもの視点に立ったコミュニティ研究の拠点形成～

キックオフシンポジウム

〈地域子ども学〉をつくる

プログラム

挨拶

平川 新(宮城学院女子大学 学長)

事業説明

天童睦子(宮城学院女子大学一般教育部教授 / 本事業プロジェクトリーダー)

「子どもの育ちを尊ぶ」コミュニティの創成にむけて

基調講演

足立智昭(宮城学院女子大学教授 / 〈地域子ども学〉研究センター運営代表)

地域子ども学とは何か

地域子ども学研究センターの実践について 学び・食・居場所

丹野久美子(宮城学院女子大学生活科学部食品栄養学科准教授・プロジェクト運営委員)

本間義規(宮城学院女子大学生活科学部生活文化デザイン学科教授・プロジェクト運営委員)

学生による実践報告

高橋茉莉奈(宮城学院女子大学)

子どもの居場所と学習支援 ローカルとグローバルを繋ぐ

コメンテーター

畑山みさ子(ケア宮城代表 / 宮城学院女子大学名誉教授)

榊原智子(読売新聞東京本社 調査研究本部主任研究員)

学習支援

子どもの
居場所

食 育

2019年3月26日(火) 14:30 ~ 16:15

宮城学院女子大学 K302教室 入場無料

宮城学院女子大学が 平成30年度 文部科学省 「私立大学研究ブランディング事業※」の 支援対象校に選定されました!!

※私立大学研究ブランディング事業とは？

文部科学省の事業で「学長のリーダーシップの下、大学の特色ある研究を基軸として、全学的な独自色を大きく打ち出す取組を行う私立大学の機能強化を促進する」ことを目的としたものです。選定されるには事業体制と事業内容が総合的に審査され、本年度は新たに全国で20校選定され、本学はそのうちの1校です。

東日本大震災を契機とする〈地域子ども学〉の構築

～子どもの視点に立ったコミュニティ研究の拠点形成～

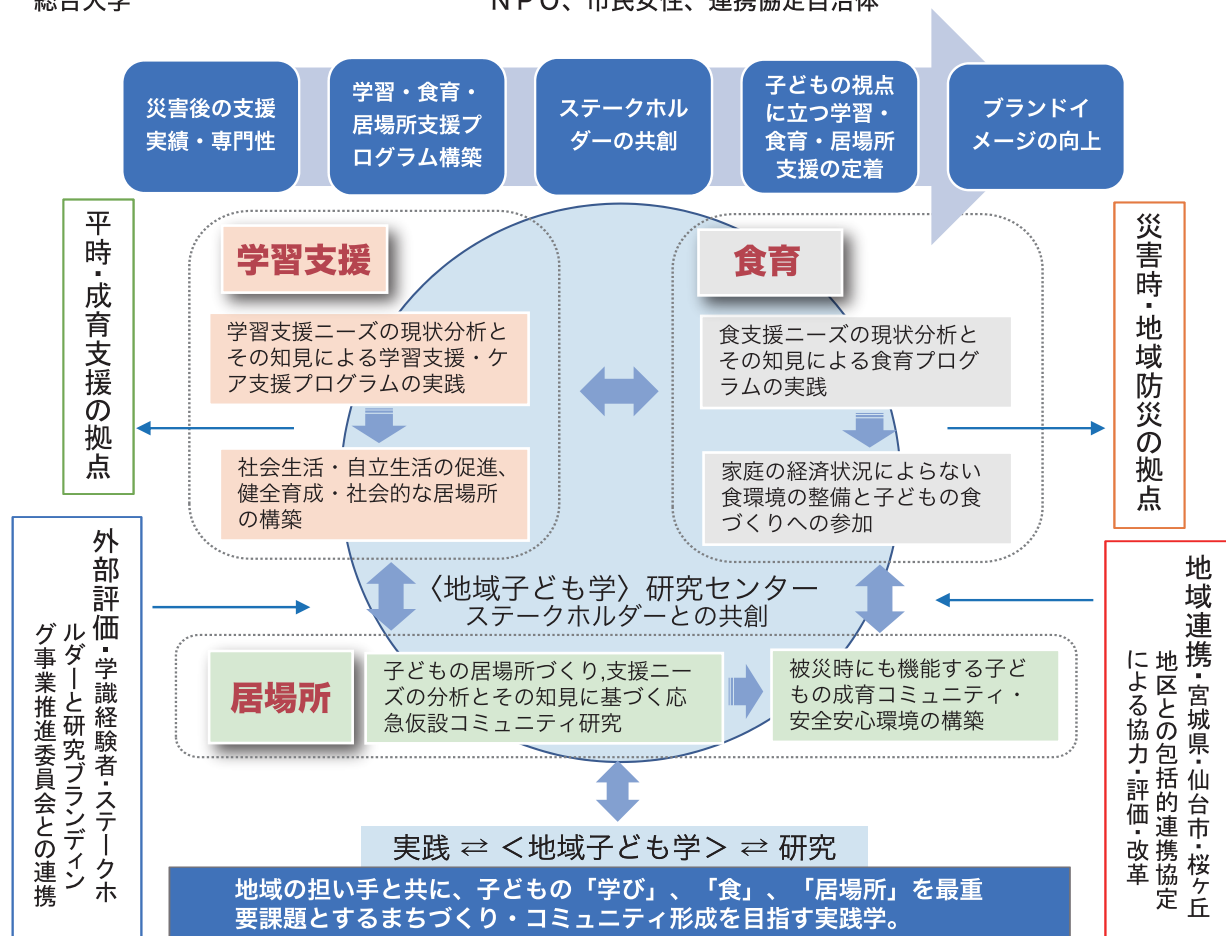
「子どもの育ちを尊ぶ」ブランドイメージ

宮城学院女子大学

教育、食品栄養、生活デザイン、ビジネス、リベラルアーツなどを学ぶ総合大学

ステークホルダー

在学生、卒業生、こども園、幼稚園、保育所、小・中学校、児童クラブ、NPO、市民女性、連携協定自治体



〈地域子ども学〉研究センターは、地域の担い手と共に、子どもの「学び」、「食」、「居場所」を最重要課題とするまちづくり・コミュニティ形成を目指す研究と実践学の拠点です。子ども子育て支援、女性と子どものエンパワメントを軸に「子どもの育ちを尊ぶ」コミュニティをともに創ることを目指しています。